

**2022 年度（2023 年春季実施）
HOPS 国際フェロー
「コミュニティ・ディベロップメント・プログラム」**

2022 年 11 月
北海道大学公共政策大学院（HOPS）

北海道大学公共政策大学院では、グローバル化時代にふさわしい人材を育成すべく、海外における教育やキャリア形成の機会づくりを奨励しています。その一貫として、北マケドニア共和国の大学「ユーロカレッジ」を受入先として研修プログラムを実施します。派遣される学生は「HOPS 国際フェロー」として、派遣に際して奨学金が付与されます。参加希望者は下記にしたがって応募して下さい。



■ 派遣時期：2023 年 2 月上旬～2 月下旬の約 2 週間

■ 場所：北マケドニア共和国（スコピエ市およびその周辺）

■ コース・プログラム内容：

- 1) 対立的多民族共存環境、独立後の国家建設、生活環境、将来の希望等についてのヒアリング、マケドニア当局との情報・意見交換、各種の文化行事等への参加等
- 2) 各国際機関・日本大使館への表敬訪問、意見交換など
- 3) 実施関係者との協力事業、交流事業など

※プログラムは参加者が主体的に構成し、ユーロカレッジ現地スタッフ、HOPS 担当教員と協議して決定する。

※治安状況は平穏ですが海外旅行傷害保険に各自入られることを推奨します。

■ 募集定員：2～3 名（1 人当たり 20 万を上限として奨学金を付与／2019 年度例）

■ 応募資格：下記の全てに該当する者

- 1) HOPS 在学生または翌年度入学予定者
- 2) 国際問題・開発援助等に強い関心を持ち、調査の計画・実施能力を持つこと
- 3) 英語での十分なオーラル・コミュニケーション能力を持つこと（TOEIC600～700 点相当）
- 4) コロナワクチン 3 回目まで接種した者

※他の国際フェロー・プログラムとの併願も可能です。

なお、下記の付帯条件を満たす必要があります。

- 1) 派遣前ブリーフィングに参加し、具体的なプログラム策定をプログラム担当教員と協議して行うこと。入学前の学生の場合、オンラインでの協議を行う場合もあります。

- 2) 研修実施後、調査レポート（単位認定あり、但し科目指定あり）を提出すること
※本研修への参加は、派遣前の準備への参加と研修終了後の調査レポート提出を条件として翌年度第1学期の単位として認定されます。なお、入学予定者も入学年度第1学期に単位が認定されます。公共政策大学院の最終年次の者については、その学修成果を、卒業・修了に必要な単位として認めることはできません。

■ 提出書類・期限：

以下の書類を2022年11月25日（金）までに法学研究科・法学部教務担当に提出して下さい。

- 1) 応募用紙
- 2) 応募理由書（800字程度）
- 3) 派遣計画書（滞在先での活動等の計画書、600字程度）
- 4) 英語能力を証明する書類
- 5) ワクチン接種証明書（コピーまたは写真）

※コロナ禍の派遣であることから、様々なリスクが伴います。フェローの健康や安全を第一に考え、派遣する者はコロナワクチンを3回目まで接種している者に限らせていただきます。

■ 選考方法：書類選考および面接選考

面接選考11月末または12月初旬に実施します。（書類選考後に提示します）。

※入学予定者については日程調整のうえZoomでの面談が可能です。

■ HOPS 進学予定者による応募について：

奨学金を受け、進学しなかったものについては、奨学金の返済義務を負います。

■ 備考：

①手続き上の不明点は、法学研究科・法学部教務担当に問い合わせして下さい。（TEL:011-706-3120, kyomu@juris.hokudai.ac.jp）

②プログラム上の不明点は、池炫周直美（n_chi@hops.hokudai.ac.jp 公共政策大学院准教授）に問い合わせして下さい。